

環境活動レポート

【 運用期間：2016年5月1日～2017年4月30日 】



発行：2017年 7月 1日



目 次

I. 組織の概要	・・・	P 3
II. 実施体制	・・・	P 5
III. 環境方針	・・・	P 6
IV. 環境目標	・・・	P 7
V. 環境活動計画	・・・	P 8
VI. 環境目標の実績	・・・	P 9
VII. 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容	・・・	P 10
VIII. 当社の取り組み	・・・	P 11
IX. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	・・・	P 12
X. 代表者による総合評価と見直し結果	・・・	P 13

【その他添付資料】

- 環境上の緊急対策
- 環境コミュニケーション受付表
- 問題の是正及び予防処置

I 組織の概要

1、事業所名及び代表者名

株式会社 ACフューエル
代表取締役：新井 芳高

2、所在地

本社 静岡県榛原郡吉田町川尻4036-6
コンテナ置場 静岡県榛原郡吉田町川尻1987番

3、会社履歴

法人設立： 昭和44年（株式会社 新井チップ工業）
平成25年商号変更（株式会社ACフューエル）
資本金： 5000万円
事業年度： 当年5月～翌年4月

4、環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者：藤田 起也
担当者：新井 章子
連絡先 TEL：0548-33-3755
FAX：0548-33-3757
E-mail：acfuel.3755@gmail.com

5、事業活動

- ・製紙用木材チップ及び燃料用木材チップの製造業
- ・産業廃棄物収集・運搬業及び処分業の許可

種別	許可番号	許可期限	許可内容
静岡県産業廃棄物収集運搬業	第02201043917号	2017.1.6~2022.1.5	木くず
静岡県産業廃棄物処分業（中間処理）	第02221043917号	2017.1.6~2022.1.5	木くず

6、事業の規模（事業年度：当年5月～翌年4月）

		単位	2014年度	2015年度	2016年度
売上高		百万円	219.29	234.07	253.93
処理実績	産廃収集・運搬	m ³	6056	7149	11544
	中間処理	t	15319	17075	18931
従業員数		人	13	14	14
延床面積		m ²	1385	1385	1385

処理実績【2016年度処理実績（5月～翌年4月）】

処理方法等	廃棄物等種類	処理量（t）	
収集運搬	産業廃棄物	木くず	11544m ³
		木くず（製紙用）	7244.47t
処分	中間処理	木くず（燃料用）	11687.04t

7、 認証・登録の対象範囲

対象組織：株式会社ACフューエル 本社、コンテナ置場
 対象活動：製紙用木材チップ及び燃料用木材チップの製造業
 産業廃棄物収集・運搬業及び処分業
 次項の「Ⅱ 実施体制」参照

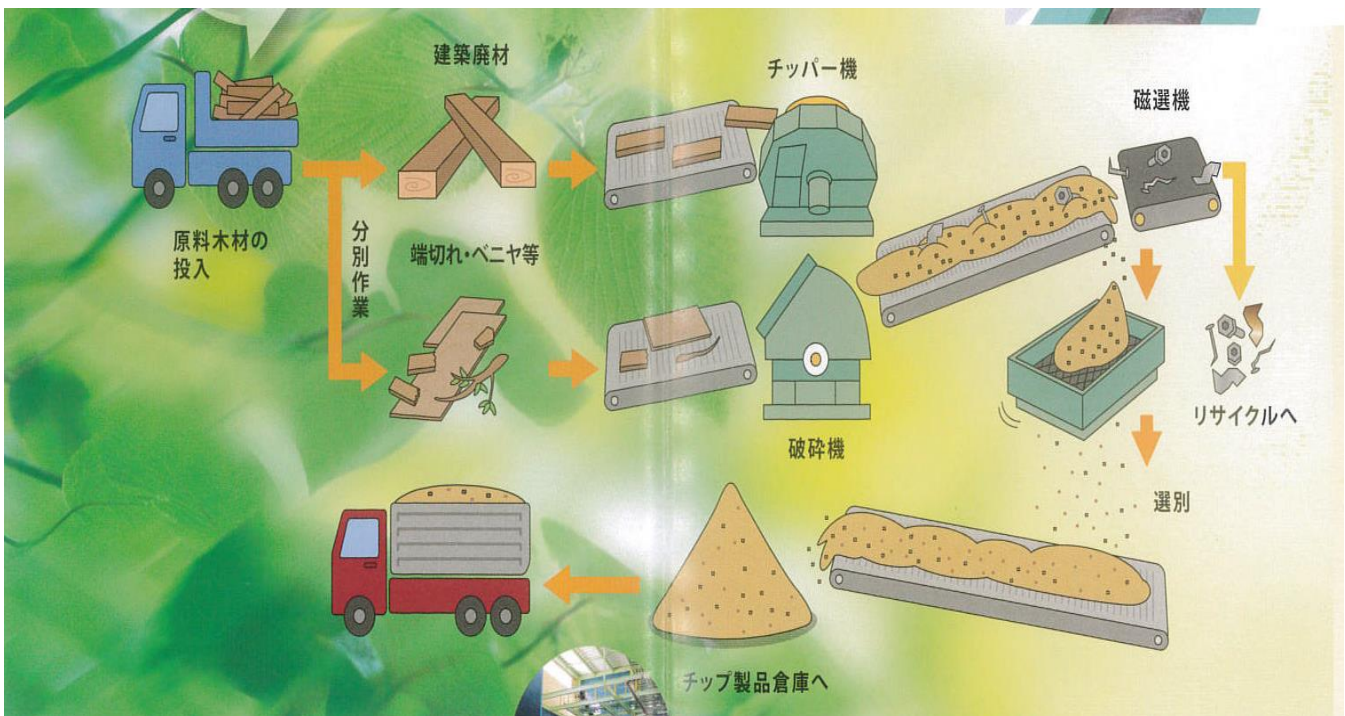
8、 保有設備

4 t アームロール車：2台 （収集運搬車両）
 パワーショベル：5台 フォークリフト：2台
 ホイールローダ：2台 スーパー：1台
 破砕機（チップパー機）：1台 破砕機：1台

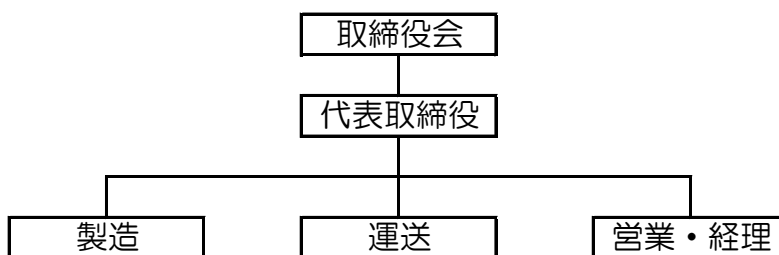
9、 施設等の状況（処分業）

施設の種類	産廃の種類	処理能力	処理方式
破砕機（チップパー機）	木くず	81.52 t/日	破砕
破砕機	木くず	162.08 t/日	破砕

10、 処理工程図



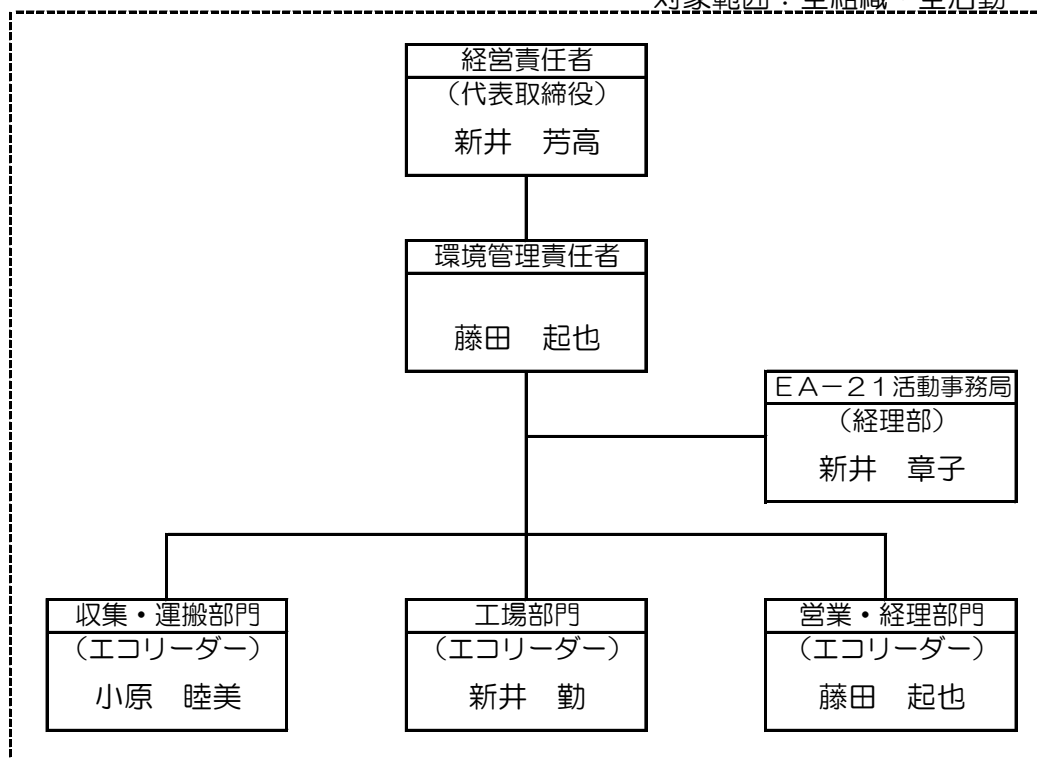
11、 組織図



Ⅱ 実施体制

2015年10月1日現在

対象範囲：全組織・全活動



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③環境への取組を適切に実行するための資源（人・もの・金）の準備
- ④全体の評価と見直し
- ⑤実施体制の構築

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

EA-21 活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

各部門長（エコリーダー）

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

Ⅲ 環境方針

株式会社 ACフューエル 環境方針

[環境経営理念]

株式会社ACフューエルは、伐採木や木くずの製紙用原料及びバイオマスボイラー燃料としての利用を推進し、単に燃やして処分するのではなく、有効にリサイクルすることで「地球+人+環境にやさしい企業」を目指しています。

[基本方針]

当社は、環境経営理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な事業を展開いたします。

1. 全員で環境保全活動を展開し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます
 - 1) 電気、軽油、ガソリンの省エネルギー活動の推進に努めます
 - 2) 木くずの全量リサイクルに努めます・産業廃棄物排出量の削減に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
2. 環境に配慮した物品の調達と地域社会への取組
 - 1) 事務用品や用度品のグリーン購入に努めます
 - 2) 廃棄物排出事業者に対して排出の指導・支援に努めます
3. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制及びその他の規制を遵守致します
4. 環境コミュニケーションの積極的实施
 - 1) 社外においては、環境活動レポートを公開し、利害関係者とのより良いコミュニケーションを実践します
 - 2) 社内においては、全従業員に、この環境方針及び必要事項を周知し、全社員参画による取組をてんかいたします。

制定日 2015年 10月1日

改定日 2016年 7月1日

株式会社ACフューエル
代表取締役 新井 芳高 印

Ⅳ 環境目標

2014年度環境負荷の実績

項目		単位	2014年度
			通年
二酸化炭素		kg-CO2	291,914
内訳	購入電力	kWh	230,852
	ガソリン	L	4,526
	軽油	L	62,097
	LPG	kg	5
受託した産業廃棄物処理量	収集運搬量	m ³	6,056
	中間処理量	t	15,319
	再資源化量	t	15,309
	再資源化率	%	99.9
産業廃棄物排出量		t	9.5
水使用量		m ³	115
グリーン購入の推進			未把握

短期・中期環境目標

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力（H2013年度）の「0.513kg-CO2/kWh」を使用

項目		単位	基準年度 (2014年度)	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素		kg-CO2	291,914	-1%	-1.5%	-2%
内訳	購入電力	kWh	230,852	-1%	-1.5%	-2%
	ガソリン	L	4,526	-1%	-1.5%	-2%
	軽油	L	62,097	-1%	-1.5%	-2%
産業廃棄物中間処理量		t	15,319	+4%	+6%	+8%
産業廃棄物リサイクル率		%	99.9	現状維持		
産業廃棄物排出量		t	9.5	-1%	-1.5%	-2%
水使用量		m ³	115	現状維持		
グリーン購入の推進		品目	未把握	現状把握	1	2
苦情件数		件	0	0	0	0

VI 環境目標の実績

運用期間（5月～4月）実績

項目	単位	2014年基準	2016年目標	2016年実績	評価	
		5月～4月	5月～4月	5月～4月		
二酸化炭素	kg-CO ₂	291,914	288,995	295,621	×	
内訳	購入電力	kWh	230,852	228,543	229,745	×
	ガソリン	L	4,526	4,481	5,884	×
	軽油	L	62,096	61,475	62,511	×
産業廃棄物処理量	t	15,319	15,932	18,932	○	
産業廃棄物リサイクル率	%	99.9	99.9	99.9	○	
産業廃棄物排出量	t	9.48	9.38	5.61	○	
水使用量	m ³	115	115	145	×	
事務用品のグリーン購入品目	品目	未把握	現状把握	6	○	
苦情件数	件	0	0	0	○	

* 産業廃棄物リサイクル率、事業所排出廃棄物、グリーン購入はほぼ計画通り取組をすすめられたため、目標達成

* 二酸化炭素、電力、ガソリン、軽油、水使用量は目標未達成

二酸化炭素…中間処分量、収集運搬量の増加に伴い未達。
削減目標に向けての取組意識は向上している。

電力……………中間処分量が前年比11%増加したのが原因と思われる。電力使用量は4%の増加なので取組はできている。

ガソリン……前年比では僅かな増加だが目標を大きく上回っている。
根本的な見直しが必要と思われる。省エネ車の導入を社内検討。

軽油……………中間処分量、収集運搬量の増加に伴い目標未達。取組はできている。
次回より車両と工場内使用を細分化する。

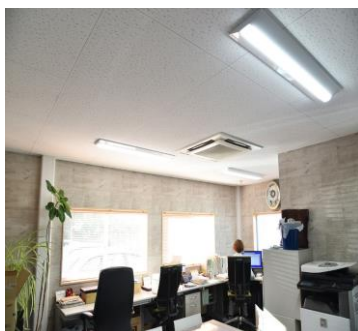
水……………中間処分量の増加に伴い散水の頻度、量が増えたと思われる。
節水の取組はできている。

Ⅶ 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容

項目	活動項目	評価		今後（次年度）の取組	
		評価	内容	内容	
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底（1回／週チェックする）	○	徹底されている	継続実施
		②高効率照明機器の導入（LED化）	○	随時導入予定	継続検討
	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	徹底されている	継続実施
		②クールビズ、ウォームビズ	○	徹底されている	継続実施
		③フィルター定期清掃	○	1ヶ月に一度実施	継続実施
		④使用していない部屋の空調停止	○	徹底されている	継続実施
		⑤遮光対策	○	徹底されている	継続実施
	コア・サーバー	①エアー漏れの点検と修理	○	月一度チェック	継続実施
		②高効率コンプレッサー導入検討	○	取付け済	実施済
		③使用時以外の電源OFF	○	徹底されている	継続実施
	設備・他	①停止時メイン電源OFF	○	徹底されている	継続実施
		②デマンド計管理	○	徹底されている	継続管理
		③太陽光発電導入検討	△	社内検討中	継続検討
		④自動販売機の省エネ対策	○	徹底されている	継続管理
	乗用車・トラック・他	①エコドライブ	○	徹底されている	継続実施
		②日常・定期点検の実施	○	徹底されている	継続実施
		③省エネ車の導入	△	社内検討中	継続検討
		④排ガス対応車の導入	△	社内検討中	継続検討
		⑤アイドリングストップ	○	徹底されている	継続実施
	湯沸	①使用時間規制	○	徹底されている	継続実施
廃棄物のリサイクル	事業所排出物	①コピー用紙の両面使用	○	徹底されている	継続実施
		②廃棄物の分別とリサイクル	○	徹底されている	継続実施
		③集約化購買	○	徹底されている	継続実施
		④FAXのPDF化	○	徹底されている	継続実施
		⑤3Rの実践	○	徹底されている	継続実施
	産業廃棄物	①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別	○	徹底されている	継続実施
		②分別作業による再資源化	○	徹底されている	継続実施
		③排出事業者への指導、新規顧客の開拓	○	徹底されている	継続実施
節水	上水	①節水意識の徹底	△	対象者に指導及び改善	継続実施
		②水漏れのチェック	○	徹底されている	継続実施
グリーン購入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	○	実態調査	継続実施
		②何回も使える物購入	○	ボールペン・他	継続実施
	備品	①環境ラベル登録品の購入	○	実態調査	継続実施
環境に配慮した商品・サービスの取組		①会社周辺の環境美化活動	○	随時実施	継続実施
		②取引先への指導・助言	○	徹底されている	継続実施
		③火災予防対策の徹底	○	年1度訓練実施	継続実施

Ⅷ 当社の取組み

◆高効率照明機器の導入（LED化）◆



◆高効率コンプレッサーの導入◆



◆低燃費重機の導入◆



◆デマンド計管理◆



◆ハイブリッドカー◆



◆場内及び近隣の清掃活動◆



Ⅸ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者 藤田 起也

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (収集運搬)	マニフェストの管理	B2票の返却	2017/5/1
	マニフェストの保管	5年間	
	マニフェストの交付状況及び運搬実績の 知事への報告	6月30日までに提出	
	運搬業許可の更新	5年間	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (処分)	廃棄物排出事業所との 委託契約	契約(書)の締結	2017/5/1
	マニフェストの管理	C2票、D票、E票の返却	
	マニフェストの期間内返却	90日以内または 180日以内	
	マニフェストの保管	5年間	
	廃棄物の適正処理	運搬基準、保管基準及び処分基準の遵守	
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	
	マニフェストの交付状況及び処理実績の 知事への報告	6月30日までに提出	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (排出事業者)	マニフェストの保管	5年間	2017/5/1
	マニフェストの交付状況及び処理実績の 知事への報告	6月30日までに提出	
静岡県産業廃棄物の 適切な処理に関する条例	委託先の現地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	2017/5/1
	産業廃棄物管理責任者の選任		
騒音・振動規制法	特定施設の届出	コンプレッサー、破砕機	2017/5/1
静岡県生活環境の 保全に関する条例	特定施設の届出	コンプレッサー、破砕機	2017/5/1
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	2017/5/1
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	2017/5/1
環境基本法	一般的な自主努力	EA21の取組	2017/5/1
地球温暖化対策 推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力、EA21の取組	2017/5/1
循環型社会形成 推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	2017/5/1
自動車 リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	2017/5/1
浄化槽法	浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	2017/5/1
	保守点検の実施	3ヶ月に1度	
	定期清掃の実施	おおむね1年に1度	
	指定検査機関による定期水質検査	1年に1度	
グリーン購入法	環境配慮物品の購入	エコマーク商品	2017/5/1
消防法	指定可燃物の届出	木くずの多量保管	2017/5/1
フロン排出抑制法	簡易点検(年4回)	パッケージエアコン、建設機械	-

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体評価と見直し結果

作成 平成29年7月1日

1・見直し関連情報	項目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成しました。
	2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 電力、ガソリン、軽油、水は未達
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙にて報告するようにします
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙報告の通り
	8	その他 ()	<input type="checkbox"/>

2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>EA21の取組を始め約1年半が経過し全体で取り組む意識は向上しているように思います。収集運搬、処分量と取扱量の拡大が出来充実した1年になりました。仕事量の増加に伴い未達となったものを改善するためにも目標の見直しや新たな目標の構築をするよう環境管理責任者に指示しました。来期以降も高い意識を持ってEA21に取り組めます。</p> <p style="text-align: center;">平成29年7月1日 株式会社 ACフューエル 代表取締役 新井 芳高</p>		
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1 環境方針	有・無 <input type="radio"/>	
	2 環境目標	有・無 <input checked="" type="radio"/>	ガソリン、軽油使用量の集計方法の見直しを指示。
	3 環境活動計画	有・無 <input type="radio"/>	
	4 環境に関する組織	有・無 <input type="radio"/>	
	5 その他のシステム要素	有・無 <input type="radio"/>	
	6 その他(外部への対応)	有・無 <input type="radio"/>	

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン 1	木くず置場からの発火	自然発火	<ul style="list-style-type: none"> 置場の整理・整頓 消火器の設置 夜間、休日のセキリティ会社からの連絡情報伝達
パターン 2	大地震への対応	地震による破損	<ul style="list-style-type: none"> 地震時の行動計画確認

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2016.12.1	木くずの火災	自然発火	<ul style="list-style-type: none"> 放水による消火活動 消火器の使用方法、置場の確認
参加者		全社員	
<p>※評価と改善策</p> <p>廃棄物(木くず)置場より火災が発生したことを想定して訓練を行いました。放水による初期消火が出来る様、迅速な行動を心掛け訓練が出来ました。また、消火器の使用方法、置場の再確認も出来ました。今後は他の場所での火災を想定した訓練を行っていきたいです。</p>			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2016.12.1	作業中の大地震	大地震の避難訓練	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時の分担を決める 災害ごとに避難行動を明確にする
参加者		全社員	
<p>※評価と改善策</p> <p>今までに体験した事のない様な揺れ、及びその後の津波を想定した訓練をしました。この地域でも長年大地震が発生すると言われており、起こりうる災害を可能な限り想定し、実際に行動できるように訓練を行い役割分担を明確にしました。</p>			

環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当: 藤田起也

NO.	情報 日	入手 情報 類	種 類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容
						連絡先			
1	/		対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
2	/		対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
3	/		対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
4	/		対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
5	/		対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	

問題の是正及び予防処置

記録日 平成28年7月1日
担当者 藤田起也

	対象項目	原因	是正及び予防処置
1	二酸化炭素	仕事量増加	中間処分量、収集運搬量の増加に伴い増加している。 削減目標に向けての取組意識は向上している。
2	電力使用量	仕事量増加	中間処分量が前年比11%増加したのが原因と思われる。電力使用量は前年比4%の増加なので取組はできている。
3	ガソリンの使用量	仕事量増加	エコドライブには気をつけているが仕事量の増加に伴い使用量が増えている。 対象の車種を営業車だけに絞り込み経過を確認する。 低燃費車の導入を社内検討中。
4	軽油の使用量	仕事量増加	中間処分量、収集運搬量の増加に伴い軽油の使用量が増加している。 次回より、工場内使用量と車両使用量を分けて詳細の確認を行う。
5	水の使用量	仕事量増加	中間処分量の増加に伴い散水の頻度、量が増えたと思われる。 節水に対する取組、意識は高まってきている。

		承認	作成
		環境管理責任者	
株式会社ACフューエル	緊急事態(火災)対応手順書		
手順書			
制定2015年10月1日			第1版
目的	火災発生の際、緊急対応を適切に行うことにより従業員と近隣住民の安全及び火災による環境汚染を防止する。		
	作業手順	ポイント	
1	防止策 1 たばこは所定の場所で喫煙。 2 危険物保管場所は火気厳禁。 3 漏電の点検は2ヶ月毎に実施。	喫煙場所で 月1回の消火器の点検	
2	社内連絡 1 発見者は火災発生を知らせる。 2 火災発生の際の連絡を受けた人は、消防署に会社名、住所、状況を連絡する。	119	
3	消火作業 1 消火は近くにある消火器にて消火作業を行う。放水にて対応可能な場合は、ジェットウォッシャーで放水し消火作業を行う。	消火器置場にプレートの設置	
4	警備 1 総務担当者は消防署到着後現場を案内する。		
5	訓練 1 年1回の訓練時に消火器の使用方法を徹底し有効的な訓練を行う。 2 火災発生後は原因を突き止め、再発防止に努め、手順の見直し改善を行う。		

《改定記録》

版	改定日	改定内容・改定理由